※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	地学基礎　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「宇宙における地球」、「変動する地球」という２つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

多くの定時制生徒の実態を踏まえ、生徒が地学に興味関心を持つよう、できうる限り身近なテーマや現象を扱うことで、地学的な観点から自己の生活を見つめ、また考える人間になるよう留意する。起こりうる自然災害にどう対処するかを考えさせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れのなかでとらえるなど、科学的な見方や考え方を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中の問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	大気と海洋	海洋の構造と海水の運動 日本の四季の気象と気候	○ ○	○	○	○	a:日本周辺の気団と季節変化に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:海流の及ぼす影響について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 海陸風の特徴やしくみについて気象観測資料の収集などを行い、過程や結果を的確に記録、整理している。 d: 海水の運動と循環を理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録
	太陽系と宇宙	太陽系の中の地球 太陽系とその進化 宇宙のすがた	○	○	○	○	a:宇宙の進化に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:現在の太陽と今後辿る太陽の姿を考察し、導き出した考えを表現している。 c:太陽系の惑星に関する探究活動を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d: ビッグバンから宇宙がどのような過程を経て、恒星・銀河ができたのか理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録
後期	地球の環境	日本の自然環境 地球環境の科学	○	○	○	○	a: 自然がもたらす災害と恩恵に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b: 気候変動と地球温暖化の原理を考察し、導き出した考えを表現している。 c:雨水の酸性度について観察や資料収集などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d: 地球環境問題と人間社会への影響を理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。